

# パオちゃん's EYE

2022年9月1日 発行 No.66

## ガジュマル～妖怪の宿る植物～

『水木しげるの妖怪地図』（荒俣宏監修、平凡社、2011）には、全国各地のご当地妖怪が載っています。植物に関係したものは、フキの葉の下に住む「コロポックル」（北海道の原野）、カキノキの実が化した「たんころりん」（宮城県仙台市）、カツラの大木に宿る「ナンジャモンジャ」（千葉県香取郡神崎町神崎神社）、マツの



大木に住む「松の精霊（まつのせいらい）」（愛知県三河地方）、カヤの大木の梢からぶら下がる「釣瓶落とし（つるべおとし）」（京都府亀岡市など）、竹やぶに住む「竹切狸（たけきりだぬき）」（京都府亀岡市）と「妖怪万年竹（ようかいまんねんだけ）」（和歌山県）、大きなガジュマルをすみかとする「ケンムン」（鹿児島県奄美大島・加計呂麻島）と「キジムナー」（沖縄県）、イトバショウに宿る「芭蕉の精（ばしょうのせい）」（沖縄県）が紹介されています。

ガジュマルはクワ科の常緑高木で、大きなものでは高さが20mにもなります。幹から多数の気根を伸ばし、四方に枝や葉をしげらせます（写真上、右）。岡山県には自生が知られませんが、屋久島から琉球にかけての海岸近くではしばしば大木が見られます。妖怪「ケンムン」は河童の仲間とされ、ガジュマルの木をすみかとし、人に出会うとすぐに相撲を挑んできます。また、妖怪「キジムナー」は古びたガジュマルの木の精霊で、夜に提灯を持っていると、その火を取って逃げることがあるとされます。



狩山俊悟(植物担当)

パオちゃんズアイに関するお問い合わせは

**倉敷市立自然史博物館**

〒710-0046 岡山県倉敷市中央 2-6-1

電話:(086)425-6037 FAX:(086)425-6038

E-mail:musnat@city.kurashiki.okayama.jp

博物館ホームページには  
いろんな情報がいっぱい♪  
「倉敷市立自然史博物館」で  
検索してみよう！ パオより

